

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	80	学 校 名	浜松商業高等学校	校 長 名	井口 裕史
------	----	-------	----------	-------	-------

1 スクール・ミッション

「誠実・勤勉・敬愛」の校訓のもと、県西部の商業教育の伝統校・包括的拠点校として、グローバルな企業・大学・行政等との連携を深め、商業4分野や特別活動・部活動等を軸に据えた課題解決型学習を通して、国内外で活躍したり、広く社会や地域に積極的に参画したりする、将来を担っていく人材の育成を目指す。
--

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
・自ら課題を発見し、解決しながら未来を切り拓いていく力 ・他者と協働しながら、地域やグローバル社会に貢献する力	・企業・大学・行政等との連携を深めた商業4分野における高度で実践的な課題解決型の商業の学び ・キャリア教育や特別活動・部活動等を軸に据えて、学力向上や進路実現を果たす学び ・主体的・対話的で協働した深い学び	・自立した主権者として地域や社会に参画しようとする生徒 ・自ら豊かな人間性や健やかな心身を育もうとする生徒（誠実） ・主体的・協働的に、生涯において学び続けようとする意欲を持つ生徒（勤勉） ・他者を敬愛し、尊重する姿勢をもつ生徒（敬愛）

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 高度で実践的な課題解決型の商業教育と学力向上進路実現を果たす学習指導
- イ 豊かな人間性や健やかな心身を育成する活力にあふれる学校行事や部活動・特別活動等
- ウ 自立した主権者としての資質を育成する生活指導
- エ 安心安全な学校づくり
- オ 企業・大学・地域・家庭等と連携した地域から信頼される学校運営
- カ ICT推進や改革を意識した職務執行
- キ 生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る	・課題研究の充実（講座内容の見直しと発表会の充実） ・科の学習内容の充実（商業科・情報処理科の特色に応じた取り組みの強化） ・資格取得に向けた取組の徹底（基礎資格の確実な取得） ・取得資格に基づくアウトプットの醸成（思考力・判断力・表現力）	・授業への満足度調査で「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒それぞれ85%以上 ・外部コンクールへの積極的な応募（3つ以上）と校内での成果発表会が実施できた ・日商簿記3級合格70%以上 ・情報処理技術者試験合格者10人以上	商業科

様式第 1 号

		・外部人材の積極的活用	・生徒が学習した知識に基づき自分の意見を適切にまとめて表現できる 80%以上	
		・「基礎力診断テスト」を活用した教科指導方法の検証・改善 ・「スタディサプリ」を活用した学力の伸長とキャリア支援の充実	・生徒の学習上の課題を的確に把握し、改善案を提示（結果検討会の開催） ・進路指導への活用ができた	各教科 教務課 進路課
		・進路指導室の相談体制の充実 ・進学補習の充実 ・ICT を活用した積極的な進路情報の提供	・適切な進路選択ができたと感じた生徒 100% ・handy を活用した生徒 100% ・進路だより等発行 10 回以上（配信含む）	進路課
		・配信授業に対応した校内の ICT 環境の整備 ・研修会の実施 ・活用事例の紹介	・授業で教員の ICT 活用 100% ・一人一台端末を活用した授業を行った教員 80%以上	教務課 図書研修課
		・教育課程推進委員会による教育課程改善の推進 ・適切な観点別評価の実施 ・改正学校教育法施行規則にのっとった内規の改訂とシラバスの見直し	・進学・就職それぞれにニーズに適した教育課程の改善ができた。 ・「先生方は、教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒 80%以上 ・学習ニーズに合っていると答える生徒 90%以上	教務課
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を身に着けた生徒を育成する	・特別活動の充実 修学旅行・スキー教室 その他の学校行事 生徒会活動 委員会活動	・各特別活動において「有意義だった」「満足」と答える生徒 90%以上 ・「学校行事は楽しく有意義」と答える生徒 90%以上	各学年 生徒課 教務課 各課
		・時代に即した部活動のあり方の改善と基本方針の改定 ・部活動と課外活動の充実を図るとともに、計画的で効率的な運営を行い、最大限の効果を上げる ・部活動を通して主体性や協働性の育成を行う	・「部活動基本方針」の遵守 100% ・「部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、主体性や協働性が育成されている」85%以上	部活動顧問 生徒課
ウ	計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する	・職員間での共通認識の保持や情報共有の徹底 ・共通認識と共通実践の徹底 ・生徒に向き合い働きかける機会の確保 ・課題の早期発見・アプローチ	・学年会年間 12 回以上開催 ・学年主任情報交換年間 10 回以上 ・学年集会各学期に 2 回以上実施 ・個別面談年間 3 回以上実施	各学年 管理職
		・自信をもって挨拶できる生徒の育成（HR 風紀委員 授業） ・情報モラル講座、交通安全講話の実施	・「主体的に挨拶ができる」生徒 90%以上 ・SNS による不適切な行為 0 件	生徒課

様式第 1 号

		・交通委員による継続的な街頭指導の実施 ・交通違反者に対する講習会の実施 ・教員による昼休みの巡視	・生徒の交通事故前年比 10% 減（重大事故 0 件） ・自転車交通違反切符交付数の着実な減少 ・「基本的生活習慣が身につけている」生徒 85%以上 ・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒 80%以上	
エ	安心安全な学校づくりを推進する	・防災教育の充実 ・防災マニュアルの必要に応じた見直しと職員への周知徹底	・避難訓練年 3 回実施 ・避難経路を理解し 15 分以内で避難点呼完了 ・参加対象者の地域防災参加率 70%以上	総務課
		・人権教育啓発活動の実施 ・命の大切さや健康への理解を深める ・「いじめ・こころの健康調査」「自己を語る」等の実施 ・上記の HR 面談での活用促進 ・実施結果分析の情報共有	・命の大切さや健康への理解が深まった生徒 80%以上 ・生徒課通信の発行年 5 回以上 ・生徒アンケート結果を面談に活用した担任 100%	図書研修課
		・困りごとの早期発見と情報共有の徹底 ・SC の活用 ・特別支援情報共有会の充実	・困りごとを抱えた生徒を SC へつなげることができた ・特別支援情報共有会年 10 回以上実施 ・「相談できる先生がいる」全学年 80%以上	生徒課
		・志を育む啓発指導 ・構成的グループエンカウンターなどを活用した人間関係作り ・各学年の初期指導の実施 ・每学期人間関係作りプログラムの実施	・学校生活が充実している生徒 90%以上	保健課 各学年
		・多様性を意識した制服の検討	・委員会で検討し、具体的な方針を定める	各学年 保健課
		・危険箇所等の把握と改善 ・教育環境の整備・充実 ・健康に関する指導 ・感染症リスクを下げる指導 ・タイムリーな啓発 ・学年・保護者と連携した要受診者への積極的アプローチ	・每学期 1 回以上の安全点検ができた ・保健だよりの発行年 10 回以上（配信含む） ・歯科受診率 70%以上	生徒課
		・学校経営目標に沿った計画的予算の執行 ・教育環境の整備・充実	・四半期ごとの執行計画の立案と執行率 95%	保健課 各学年
		・広報活動の充実 - HP の充実と学校パンフレットの刷新	・HP の更新 150 回以上 ・新聞掲載依頼 15 回以上 ・県 X 20 回以上	事務部
オ	企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行う	・広報活動の充実 - HP の充実と学校パンフレットの刷新	・HP の更新 150 回以上 ・新聞掲載依頼 15 回以上 ・県 X 20 回以上	総務課 各学年

様式第 1 号

	い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める	新聞掲載による広報 その他(X、インスタグラム等)	・パンフレットが刷新された	
		・PTA 総会・オープンスクールの充実(内容 参加の呼びかけ) ・PTA 学年会の配信による実施 ・きずなネットの活用(1 家庭 1 アカウント以上の登録の徹底) ・アプリによる欠席連絡の徹底 ・添付による文書配布の推奨 ・式典のスムーズな運営 ・PTA や同窓会との連携 ・奨学金業務の遂行	・「教育活動は評価できる」保護者 80%以上 ・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」と感じる保護者 85%以上 ・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」と感じる保護者 80%以上 ・時間に余裕のある事前連絡や案内が徹底された ・PTA 総会、学年会の参加者(閲覧数)が増加した	
		・一日体験入学・オープンスクール内容の充実 ・中学校への積極的な広報活動	・「浜商のことが分かった」来校者 90%以上 ・中学校への出前授業 20 回以上 ・管理職・運営委員・学年部等による近隣中学校訪問 2 回以上 ・定員の充足	教務課 商業科 各学年 運営委員 管理職
カ	ICT 推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る	・出退勤時間の適正化 ・会議資料の削減 ・会議時間の短縮化 ・校務の効率化	・会議資料のペーパーレス化及び確実な事前配付(提示)ができた ・時間外勤務時間の縮減に取り組んだ教職員 80%以上	管理職 運営委員 全職員
		・行事の精選 ・諸表簿・教材教具等の計画的配置と整備	・行事検討委員会の開催による改善案の提示及び行事の精選が実行できた	教務課
		・計画的な部活動の実施	・部活動計画の提示が徹底できた(毎月・長期休業)	生徒課 部活動顧問
		・事務処理の効率化と統一化 ・NES の文書共有の活用	・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になっていた	事務部
キ	生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の浜商三訓を力強く実践する	・図書館の充実 ・読書指導の充実 ・朝読書指導の徹底 ・アウトプットの機会を作る	・「読書する習慣が身についている」生徒 60%以上	図書研修課
		・研修の充実 ・授業参観・授業参観週間・オープンスクールの充実 ・研修案内により職員の外部研修参加の促進 (Zoom 含)	・ミニ研修の実施 5 回以上 ・課題解決型グループ討議 2 回以上 ・研修会 1 回以上 ・教職員の授業参観 3 回以上 ・全教職員の外部研修参加 1 回以上	